職種：企画・営業　　職務：企画

【概要】

地域の社会・経済事情等を踏まえ、葬祭業における新たなサービスの企画・立案を行う仕事。

【仕事の内容】

近年、核家族化や少子・高齢化の進展等に伴い、葬儀をめぐる意識が大きく変化してきており、都市部を中心に家族葬・直葬など葬儀の小型化が進んでいる。しかし、葬儀をめぐる意識や習慣は地域によってかなりの差異があり、葬祭サービスを提供する事業者にとって、地域のニーズを的確に捉え、これに即した葬祭サービスを提供していくことが極めて重要になっている。

企画の仕事は、葬祭サービスを提供する立場から、地域の社会経済動向、風俗習慣等を分析し、これを踏まえて既存サービスの改良や新サービスの企画・立案を行う仕事である。「死」をめぐる意識の変化に伴い、葬祭サービスに対する期待はますます多様化・高度化してきており、単に葬儀を執り行うだけでなく「ライフエンディング（人生の終末期）」に関わるサービスを幅広く提供するという視点からの企画が求められる。

【求められる経験・能力】

1. 一般に企画の仕事は極めて戦略性の高い仕事であり、仕事の前提として葬祭サービス全般に関する幅広い知識が求められる。このため、一定の職務経験を経てからこの仕事を担当する場合がほとんどである。
2. 葬儀に関する幅広い知識はもちろん、地域の風俗習慣に対する深い理解が不可欠である。また、既存サービスの改善や新サービスの開発を行う仕事であるため、分析能力や論理的思考能力も極めて重要になる。
3. 企画担当者にとって情報収集能力は何よりも重要である。このため、行政機関、病院、介護施設、宗教法人の担当者など、地域において幅広い人的ネットワークを張り巡らせ、必要な情報がいつでも入手できるような関係を構築しておくことが望ましい。

【関連する資格・検定等】

* 葬祭ディレクター技能審査（１級、２級）〔葬祭ディレクター技能審査協会〕
* 全葬連葬儀事前相談員資格〔全日本葬祭業協同組合連合会〕

【厚生労働省編職業分類（小分類）との対応】

　２５３　企画・調査事務員

　０３１　会社の管理職員